今回は１０人が行い当局の考え方を質問しました。インターネットによる生中継の映像配信を行いました。



## 継続的な都市交流事業について

柴田三敏

**問** **ソンギノハイルハン区及びマリーナ市それぞれと都市交流等業を行う意義は。**

**答** ソンギノハイルハン区があるモンゴル国は、遊牧民による草原での生活様式や肉や乳製品を主食とする食文化など、日本とは大きく異なる文化が特徴。一方、マリーナ市は多様な移民の文化が共存し、自由な多様性を重視する社会であり、またマリーナ市があるカリフォルニア州は、ＩＴ企業やハイテク産業が集積する世界有数の先進地。このように、両都市はそれぞれ特徴のある文化を有しているため、子どもたちを含め、市民の国際的な視野を醸成し、ひいては国際社会との共生を築く上で意義あることと考えている。

**問** **２都市との交流の状況については。**

**答** ソンギノハイルハン区とは、公式訪問団の相互訪問のほか、行政間の各種分野における視察、研修、中学生による訪問交流、小学校間によるオンライン交流などを実施。マリーナ市とは市長を代表とする公式訪問団が相互に訪問し、ハイスクールとの学生間オンラインミーティングを実施。

モンゴル国 テレルジ国立公園 ゲルキャンプ

### 本市の簡易水道の現状課題について

**問** **韮山第一・第三簡易水道は公営か民営か。**

**答** 韮山第一・第三簡易水道、この２つは韮山町の時代から議会の議決を経て条例を制定することなく、経営についても住民の皆様が組織する組合が独自に水道料金を定めて徴収し、設備の所有・維持管理がされることから、韮山村・韮山町が認可を受けているが、市は経営の実態は民営であると認識している。

**問** **民営簡易水道を市に移管する場合の手順については。**

**答** 組合で使用の古い水道管を更新し、民有地に埋設されている水道本管を市道などの公有地に移設工事していただく。また、市からの助成措置もある。

## 簡易水道の市水道統合の進捗状況について

田中正男

**問** **韮山第一簡易水道の市水道への統合の協議が滞っていると聞く。ここは民営簡易水道ではなく公営簡易水道とのことだが実態はどうか。また、統合の進捗状況はどうか。**

**答** 韮山第一簡易水道は、当初、民営簡易水道として認可を受け、区域拡張に伴い韮山町が変更認可を取得し公営簡水となっているが、経営は住民が組織する組合が、独自に水道料金を定めて徴収し施設の所有、維持管理をしているため、経営の実態は民営と認識している。水道法などの関連法規と照らすと不適切な状態なので、組合と協議を重ねている。

市水道への統合の進捗状況については、組合側の準備が滞っており、統合の条件を満たせていない状況にある。

### 木造住宅耐震化助成を市も継続を

**問** **県は木造住宅の耐震診断や耐震補強などに対する助成を来年度以降も継続する方針を示した。市も積極的に事業継続をすべきではないか。**

**答** 県が来度以降も耐震補強等の助成継続を決定したことは、大変有効であり、この制度を活用し耐震化の事業実施を進めていく。

### 市道のナラ枯れ樹木の倒木対策を

**問** **数年前から山間部の市道沿いでは、ナラ枯れの樹木が発生していて、最近は幹が腐り根元から倒れる状況が散見され、危険な状態となっている。早急に倒木対策が必要ではないか。**

**答** 道路沿いの土地における危険な樹木の管理は、土地所有者に森林環境整備事業の助成制度（伐採に１００％の補助金制度）の活用を含め、対応を依頼している。

なお、枯れ木や強風による枝折れ等のため、事故の発生が予想されるなど緊急の必要がある場合は、市が沿道の樹木を伐採、除去するなど対応している。

危険な状態のナラ枯れ樹木

## 本市の国際交流の今後の展望は

山口貴子

**問** **モンゴルとの交流の成果は何か。**

**答** 異文化への理解促進と国際的な視野の拡大。

**問** **マリーナ市との交流の成果は何か。**

**答** 英語力の向上と、移民文化と多様性を尊重するグローバル精神を知る。

**問** **モンゴルとの市民間交流は。**

**答** 公式の市民訪問団が参加している。それ以外の一般の観光等の行き来は情報がない。

**問** **令和7年度の国際交流の予算はほとんどをモンゴルとの交流で使用した。英語圏のマリーナ市との交流をもっと図るために予算を振り分けないか。**

**答** 次年度は今年度の予算配分を変えて、2つの国が同程度の事業費になるよう調整している。

**問** **他の国との経済的な交流は。**

**答** 姉妹都市協定というものではく、アドホック的（特定な事柄のために）な交流ならあっても良い。

### 旧めおとの湯・やすらぎの家・水晶苑のこれからの姿は

**問** **令和8年度で温泉施設としては終了となる旧めおとの湯・安らぎの家のその後の活用は。**

**答** その後の使用には変更はないが、子どもやもう少し若い年代を入れた多世代交流事業を進めていく。

**問** **今後、温泉施設が水晶苑だけになることの周知はいかがか。**

**答** 広報に加え、利用者に対しては12月～1月に該当施設で説明会を開催し、併せてアンケートも行う。

**問** **温泉施設として残る予定の水晶苑の浴室の問題（洗い場の汚水が湯船に流入する件）は早急に解決しなくてはならないのではないか。**

**答** 状況は把握しており、早急な改善を検討。8年度の予算要求はしている。

**問** **温泉施設が1つになった場合の混雑緩和と移動手段の対策はなにか。**

**答** 利用者の分散を図る。新たに休憩室を設け開放する。利用者の実態を把握したうえでバスの巡回ルートの組み替えなどを行う。

老人憩いの家　水晶苑

## 伊豆の国市歴史・文化拠点施設「伊豆の国歴史館いずしる」の運営について

天野佐代里

**問** **運営面について議会への報告が遅いのではないかと感じている。入館料は無料とのことだが、年間の維持管理費・有料の場合の試算としての経費400万の内訳については。**

**答** 施設の維持管理費、年間約3700万円の内2200万円が人件費。有料の場合、人件費で300万円・券売機借上額70万円・その他発券の需用費消耗品で30万円の見込み。

**問** **施設運営サポーター組織についての状況は。**

**答** 10回開催予定のカウントダウン講座は各回平均で30人の受講者があり、ご参加いただいている方々を中心に募集を実施する予定。

**問** **観光振興につなげる考えは。**

**答** インフォメーションコーナーを設け、市内の史跡や文化財・飲食店や宿泊施設・他の観光施設の情報についても発信し市内周遊滞在を促進する。

### 市制20周年・反射炉世界遺産登録10周年等の記念事業について

**問** **20周年記念事業は市の活性化につなげられているか。**

**答** 4月の市制20周年記念式典で伊豆の国市民憲章を披露。8月に子ども議会、9月のNHKのど自慢は生放送では国内や海外の一部に伊豆の国市をPRすることができた。また、商工フェア・文化財講演会など例年開催している多くの事業に20周年の冠をつけて実施し集客などでプラスの効果があったのではないかと考える。

**問** **反射炉世界遺産登録10周年の記念事業について。**

**答** 韮山反射炉を愛する会との共催で登録10周年記念講演会を開催し、普及啓発や環境整備などの関係団体への感謝状贈呈・有識者による記念講演・「ニラ山ハンシャロの歌～熱き炎～」の市民合唱団による初披露が行われた。明治日本の産業革命遺産全体の取組としてカードラリーなども実施した。

建設が進む歴史資料館

# 令和７年（第１０回）
# 伊豆の国市議会報告会の開催結果

**令和７年１０月１８日（土）社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」に市民と議員のわくわくふれあいブース　『身近な議会を目指して』をテーマに開催いたしました。**

議会が市民の集う場所に出向く形は初めての試みであり、試行錯誤しながらの開催でしたが、多世代の市民と触れ合う中で、意見交換やアンケート調査にも１５５人の協力をいただきました。寄せられたご意見・ご要望を、今後の議会活動にいかして議員一同努めてまいります。
ご参加、ご協力ありがとうございました。

伊豆の国市議会議員一同

ふれあい広場　議会ブース

市民との意見交換

## アンケート調査・市民からの声（一部抜粋）

１０代
・インターネットを活用した活動が増えれば若者の心をつかめます。
・もっとみんなに市議会自体を知らせる。

２０代
・公共施設に子ども用のトイレや授乳室があると助かります。
・オーガニック、有機、自然農法の安全な野菜を市で生産されることを願います。

３０代
・市議会がどのような取組をしているのか、SNS を活用した周知を検討してほしい。
・伊豆の国市は安全で良いところ。

４０代
・小中の給食費を無料にしてほしい。
・伊豆の国市より議員報酬が低いところを知りたい。
・議会報告会をしっかり行ってほしいです。

５０代
・議員数を減らして報酬を上げ、若い方の市政参加のチャンスを作ってほしい。
・中高生と議会報告会をやってほしい。
・議会の活動を市民が知らない。若い世代２０代３０代が関心をもってほしい。

６０代
・今後の人口減少による児童の在り方が気になります。良策をお願いします。
・より良い市になりますように議会に関心を持ちたいと思います。
・女性議員さんたちが活躍していると思います。

７０代
・報酬や定数は時代に応じて考えてください。
・市民の意見に対してフォローアップが必要。
・議員は報酬で動くのか。市をよくしたいと思うと報酬に関係なく動くと思う。
・市民のより良い生活を第一に。議員の仕事は大変ですが、伊豆の国市を思ってなった人ですから、議員内部のことより市民第一に考えて動いてほしいです。
・市民目線に立った活動をお願いします。